

令和 2 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落の状況及び集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：南種子町

島名：種子島

協定締結集落名：南種子集落

交付金額合計：6, 218, 799円

(1) 基本交付金：6, 218, 799円

(2) 新規就業者特別対策交付金：0円

協定参加世帯数：40世帯、40人（うち漁業世帯40世帯、40人）

2. 協定締結の経緯

南種子町は3方を海に囲まれ優良な漁場が多く、これまで漁業世帯個々が海域環境の管理を行っている現状にあったが、近年水産資源の減少や魚価の低迷、また漁業者の減少や高齢化等の課題を抱えているため、水産資源の豊富な優良漁場の形成や、魚価の安定化を図ることなどを目指して、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

近年、魚介類の漁獲量が減少している状況のため、カナコ籠・イカ柴の投入によるイカの産卵場・育成場の整備、藻場増殖プレート等の設置・移設による藻場の再生、サメ駆除による資源管理、種苗放流等、漁場の生産力の向上に関する取組を実施することにより、地域漁業の活性化を図ることを目指した。

②漁業の再生に関する実践的な取組状況

新たな漁具・漁法の導入として、「カツオ曳縄」の試験操業を行った。

また、魚の出前授業を熊毛のさかな魅力発見・発信委員会と共同で行った。

③新規就業者に係る取組状況

今年度は、取組なし。

4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 2,654千円

漁業集落漁業就業者数 40名

①漁場の生産力の向上に関する取組の成果

イカの産卵場・育成場の整備事業については、前年度投入したカナコ籠の引き上げを行ったところ、産卵の痕跡が見られず、またカナコ網の損傷により設置作業ができなかった。アオリイカの水揚げは年々減少傾向にあるが、今後の漁獲高向上につなげるべく、今後も継続して取り組みたい。

藻場増殖プレートについては、広田浦から牛野浦・砂坂浦に移設設置し、プレートの追跡調査も実施した。追跡調査においては、藻場の拡散は確認できず、移設したプレートの食害が確認できたので、対策を検討したい。また、新規にプレートを広田浦に設置したので、今後さらに移設を行い藻場の繁殖に努めたい。また、今年度も藻場保全の為にアメフラシの駆除に取り組んだ。今後の藻場増殖・再生への効果を期待したい。

サメ駆除については、集団駆除を7回実施した。操業での駆除10匹、買上203匹、合計213匹のサメを駆除した。

昨年に比べ、駆除数が増え、大型のものが増えた。また、1・2月の釣時期にも被害が出るようになった。今年度は昨年に比べ水温は低かったが、サメの活動が一年中になっているようだ。今後も駆除のポイント・時期の選別を行い、定期的の実施し漁場の保全を図ることで、生産力向上に繋がることがわかった。

種苗放流については、クエの稚魚を2,000尾放流した。今後の水揚げに期待したい。

②漁業の再生に関する実践的な取組の成果

今年度は、コロナ禍の影響で、おさかな祭りの中止により活動内容を変更し、大川小学校で魚の出前授業を行った。地元でとれる魚を自分たちでさばいて食べる事によって、魚に興味を持ってもらう事ができ、将来にわたっての、町内や島内での消費拡大につなげることができた。

先進事例視察については、コロナ禍の影響により中止とした。

新たな漁具の導入を目指して、引き続き「カツオ曳縄」の道具作成・試験操業を行った。道具の見直しにより漁獲対象にしていたスマの釣果もあり、一定の成果を出せたので、今後は各自により漁具の改善等を行い、水揚げ増につなげるよう努力したい。

【藻場増殖プレート移設・追跡調査】



【サメ駆除】



【種苗放流】



【魚食普及】

